



2 時間で内容がわかる 導入セミナー
新技術系講座
「ビッグデータと知財」 (東京)
～その根幹を成す A I 技術の実践的理解～

実施日程	2019 年 1 月 21 日 (月) 18:00～20:00 弁理士会館
受講料	1,000 円 (税込・テキスト代込)
対象者	<ul style="list-style-type: none">● 新技術系講座「ビッグデータと知財～その根幹を成す A I 技術の実践的理解～」の内容に興味がある方 <p>～以下、受講対象者の例～</p> <ul style="list-style-type: none">・ビッグデータと、その根幹を成す A I 技術の基礎から実践的な理解を深めたい方・弁理士として、A I 技術をどのように知財的に保護していく必要があるのかを理解したい方・A I 関連技術を通じてクライアント (中小企業) 支援、提案を目指す方・企業にお勤めで、社内関係者に対する A I 関連プロジェクトの提言力を高めたい方。
概要 ねらい	<p>新技術系講座「ビッグデータと知財」 (全 3 回) の内容や目的を講師自身からご説明する 2 時間の紹介セミナーです。受講を検討されている方は勿論、どのような講座を取るべきか・学習を行っていくべきか迷われている方にも指針となる内容ですので、お気軽にご参加ください。</p> <p>～以下、新技術系講座「ビッグデータと知財」の概要・ねらい～</p> <p>最近よく耳にするビッグデータとはどのようなものなのか。</p> <p>本講座では、ビッグデータとその根幹技術である人工知能 (AI) がどのような技術であるか、AI 開発に多用されるツールを用いた実習等を通じて、より実践的な技術理解の習得を目指します。</p> <p>また、ビッグデータと A I 技術の知財化においてどのようなことを留意する必要があるのか、特に、AI 関連プロジェクトについて、弁理士の立場において、どのように関わっていくべきか、ケーススタディやグループディスカッションを通じて理解を深めて頂きます。</p> <p>導入講座では、人工知能 (A I)、特に最近話題の「ディープラーニング」について、技術の概略、応用分野を説明し、知財化に関する留意事項について概説します。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none">● 新技術系講座「ビッグデータと知財」の内容と目的、より効果的な学習機会とするためのポイントを理解する

土田 安紘 (つちだ やすひろ)

AI TOKYO LAB CTO 兼 AI HOKKAIDO LAB 所長 (弁理士)

北海道大学大学院修士課程修了。

2001年4月に松下電気産業株式会社(現パナソニック(株))に入社し、NTTドコモ向け携帯電話のミドルウェア開発に従事した後、本社R&D部門にて幾つもの新規事業開発プロジェクトを主導。

その後、米国シリコンバレーでの社内起業プロジェクトリーダーに抜擢され、2012年から2016年まで米国・日本市場向けのモバイルO2Oサービス事業の立ち上げを主導。

AI新時代の到来、AI活用ビジネスの最前線で業界リーダーとして“ふるさと北海道”からグローバル市場を切りひらくための挑戦の場として魅力を感じ、AI TOKYO LABに入社。

現在は、CTO兼、札幌を拠点としたR&D拠点「AI HOKKAIDO LAB」所長として、「AIによる小売の再定義」の技術戦略の立案や、本戦略を実現するためのR&D体制構築を担当。

弁理士として全社の知的財産戦略も主導している。

担当
講師



内容
(予定)

- 新技術系講座「ビッグデータと知財」講座内容の紹介
 - 本講座の目的
 - 全3回のプログラム内容
 - 演習(一部)体験
- Q&A
- おわりに
 - より実りある機会とするために：受講のポイント